

第11回留学報告書

2023年12月

山口光史郎

University of Washington, Aeronautics & Astronautics

ワシントン大学航空宇宙工学科博士課程の山口光史郎です。この報告書では、2023年夏の報告書から今までについての報告をさせていただきます。

1. 研究関連

引き続き韓国のソウル大学を訪問して研究を行っています。2024年前半での卒業を目標に博士論文最終章の完成を目指しています。未だ研究内容を報告できないのが残念ですが、今年中に公開したらこちらの報告書でも紹介したいです。

以前の報告書で紹介していた二本の論文がそれぞれ論文誌に受理されました。特に私が主著の論文は、初稿提出後に大量の改訂を行ったのでやっと受理されて安心しました。しかしそのお陰もあってか、Materials & Design誌に再度論文を掲載することができ達成感がありました。博士課程の学生として数本の論文に関わりましたが、自分のアイデアを分かりやすく論文のフォーマットで表現することの難しさを痛感しました。この論文の出版を通して多くの図表作成のスキルなどを学び、自分のレベルアップに繋がったと思います。

1. S. Li, Y. Miyazawa, **K. Yamaguchi**, P. G. Kevrekidis, J. Yang, "Geometry-informed dynamic mode decomposition in origami dynamics", Extreme Mechanics Letters, 64, 102082, 2023.
2. **K. Yamaguchi**, Y. Miyazawa, H. Yasuda, Y. Song, U. Gandhi, J. Yang, "Post-fabrication tuning of mechanical metamaterials based on Tachi-Miura Polyhedron", Materials & Design, 233, 112170, 2023

2. おわりに

2023年も早くも年の瀬になってしまいました。今回は簡潔な報告書となってしまいましたが、今後も2024年中の卒業に向けて進んでいきたいと思います。船井情報科学振興財団の皆様からのご支援に感謝します。